

巻末資料



1 用語集

2 改定の経過

資料集



<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosikei/machizukuri/toshi/kekaku/masterplan.html>



本計画に関するデータ類は
こちらからご覧になれます。

用語集

| | 用語 | 説明 | 初出ページ |
|---|--------------|--|-------|
| A | DID | Densely Inhabited District の略で、人口集中地区のこと。 原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域のこと。 | 112 |
| ア | インキュベーション | 新規事業や起業の立ち上げを支援するサービスや活動のこと。 | 17 |
| | インフラ | インフラストラクチャーの略で、産業や社会生活の基盤となる施設のこと。道路・鉄道・港湾・ダム等産業基盤の社会資本や、学校・病院・公園・社会福祉施設等の生活関連の社会資本等が挙げられる。 | 5 |
| | ウォークアブル | 歩く(Walk)とできる(able)を組み合わせた造語で、歩きやすい又は歩くのが楽しいということ。まちなかを車中心から人中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変し居心地が良く歩きたくるようにすること。 | 88 |
| | エコロジカルネットワーク | 野生生物が生息・生育する様々な空間(森林、農地、都市内緑地・水辺、河川、海、湿地・湿原・干潟・藻場・サンゴ礁等)がつながる生態系のネットワークのこと。 | 34 |
| | オープンデータ | 国や自治体が保有する公共データを、誰でも二次利用できるルールのもと、コンピューターが処理しやすい形式で公開したデータのこと。 | 107 |
| カ | カーボンニュートラル | CO ₂ をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理等による「吸収量」を差し引いた合計量を実質的にゼロにすること。 | 5 |
| | 海洋レクリエーション機能 | 海を主たる活動の場とするレクリエーション(遊び・スポーツ・観光等)の機能のこと。 | 32 |
| | 環境共生モデル都市 | 環境と共生する都市づくりとして、神奈川県が中心となって進めているプロジェクトのこと。 県央・湘南都市圏では、豊かな自然を生かし、それぞれの都市が個性豊かな都市づくりを進めるとともに、都市間相互で連携し、機能を補うことにより、質の高い生活や新たな産業を創造するネットワーク型都市圏が形成されることを目指している。 | 41 |

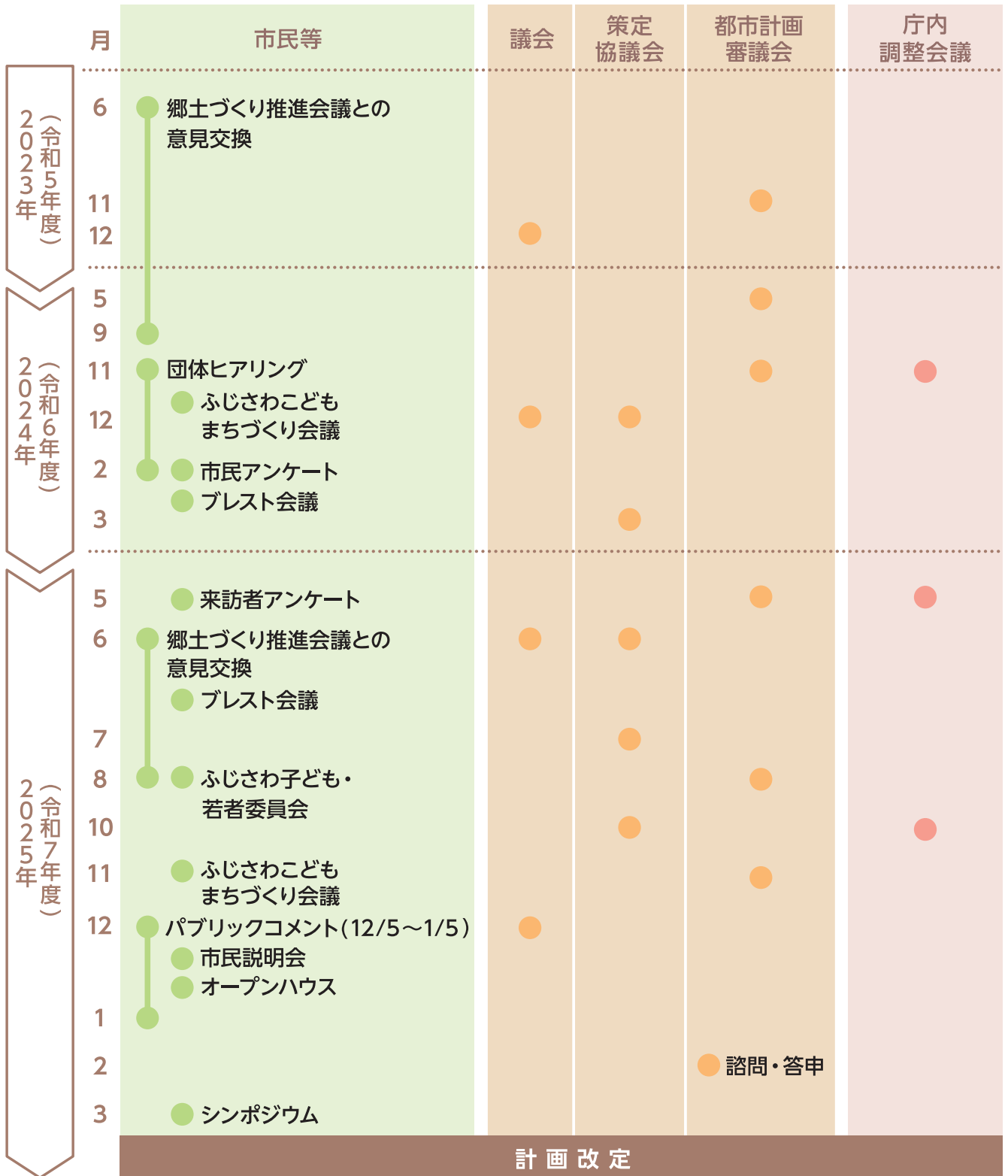
| | 用語 | 説明 | 初出ページ |
|---|------------------------|---|-------|
| カ | グリーン インフラ | 自然の多様な機能を活用した社会資本であり、将来にわたり持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくり及びウェルビーイング向上に貢献するもの。 | 5 |
| | 景観形成地区 | 閑静な住宅地や個性ある商店街といった身近な生活環境の質の向上と美しく魅力ある街なみ景観の形成を図るため、地区のまちづくりのルールを定めることができる地区のこと。 | 54 |
| サ | 再エネ (再生可能 エネルギー) | 太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等の自然の力を利用して作るエネルギーであり、化石燃料と異なり、一度利用しても資源が枯れることなく、再生して繰り返し使うことができるもののこと。 | 5 |
| | 集約型都市構造 | 主要な駅周辺や身近な中心地に生活に必要な機能を集積させ、その徒歩圏に住宅市街地を誘導し、歩いて暮らすことができる都市構造のこと。 | 10 |
| | ストック | これまでに整備されてきた建築物や道路、下水道等の都市基盤のこと。 | 39 |
| | 生物多様性 | 自然生態系を構成する動物、植物、微生物等、地球上の豊かな生物種の多様性と、その遺伝子の多様性、地域ごとの様々な生態系の多様性をも意味する包括的な概念のこと。 | 11 |
| タ | 脱炭素社会 | 化石燃料への依存を低下させ、再生可能エネルギーの導入やエネルギー利用の効率化等を図ることにより、温室効果ガス排出量を実質ゼロとする社会のこと。 | 11 |
| | 地区計画 | ある一定のまとまりを持った「地区」を対象に、その地区の実情に合ったよりきめ細かい規制を行う制度のこと。 都市計画法に規定されたもので、地区レベルで生活環境の保全や整備のため、建築物の用途・形態等に関する制限や、道路、公園等の配置等について地区の特性に応じて、きめ細かく定めることができる。 | 22 |
| | 超高齢社会 | 総人口に占める65歳以上の人口の割合が、21%超の社会のこと。 なお、65歳以上人口の割合が7%超で「高齢化社会」、同割合が14%超で「高齢社会」という。 | 56 |
| | 長寿命化 | 予防保全型の適正な維持管理を行うことで、公共施設等を長期間利用できるようにすること。また、新たに施設整備を行う際には、長期に利用できる仕様とすること。 | 37 |
| | 都市基盤 | 道路・鉄道等の基幹交通施設や緑地・公園等の都市の様々な活動を支える最も基本となる施設のこと。 | 10 |

| | 用語 | 説明 | 初出ページ |
|---|----------------|--|-------|
| ナ | ネイチャー ポジティブ | 日本語訳で「自然再興」といい、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。 | 5 |
| ハ | 復興(の) 事前準備 | 平時から災害が発生した際のことを想定し、どのような被害が発生しても対応できるよう復興に資するソフト的対策を事前に準備しておくこと。 | 36 |
| | プラット フォーム | まちづくりに関わる多様な人々（行政、住民、企業、団体等）が集まり、地域をより良くするための議論や活動を行うための共通の基盤となる仕組みのこと。 | 106 |
| ヤ | 谷戸 | 丘陵地帯が浸食されてできた谷あいの低湿地及びその周辺の斜面樹林を含めた地形のこと。 | 21 |
| | 遊水地 | 洪水の時に一時的に水を貯めて、下流への水の流れを緩やかにし、洪水被害を軽減するための施設のこと。 | 46 |
| | ユニバーサル デザイン | すべての人のためのデザインのこと。 製品や建物、空間を、障がいや年齢、国籍等にかかわらずあらゆる人が快適に利用できるようにしたデザインのこと。 | 39 |
| ラ | ライフライン | 都市生活の維持に必要な不可欠な電気・ガス・水道・通信・輸送等のこと。 | 5 |
| | ラダー型の 交通軸 | 鉄道や幹線道路といった交通が、縦軸（南北）と横軸（東西）方向によるはしご型に配置された交通軸のこと。 | 19 |
| | 立地適正化 計画 | 居住機能や医療・福祉・商業等の立地の適性化や、公共交通等の再編との連携により、持続可能な都市構造を目指す包括的なマスタープランのこと。 住宅や都市機能増進施設の立地の適正化に関する方針については、都市計画法に基づく市町村マスタープランの一部と見なされる。 | 4 |
| | 連節バス | 大量輸送のために車体が2連以上につながっているバスのこと。 | 70 |

2

改定の経過

1 藤沢市都市マスタープランの改定の経過



2 都市マスタープラン策定協議会委員名簿

| 区分 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|--------------|-----|--------|---------------------------|
| 市民 (五十音順) | | 岡本 峻太郎 | 鶴沼地区 |
| | | 村田 成笑 | 湘南大庭地区 |
| | | 吉富 芳子 | 片瀬地区 |
| | | 渡邊 直樹 | 湘南台地区 |
| 学識経験を有する者 | | 一ノ瀬 友博 | 慶應義塾大学 環境情報学部 学部長 |
| | | 大沢 昌玄 | 日本大学 理工学部 土木工学科 教授 |
| | | 加藤 孝明 | 東京大学 生産技術研究所 教授 |
| | 会長 | 中島 直人 | 東京大学 大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授 |
| | | 三輪 律江 | 横浜市立大学 大学院 都市社会文化研究科 教授 |
| | 副会長 | 村山 顕人 | 東京大学 大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授 |
| 関係団体 | | 神崎 勝男 | さがみ農業協同組合 藤沢地区運営委員会 委員長 |
| | | 竹村 裕幸 | 藤沢商工会議所 専務理事 |
| 関係行政機関 | | 塚本 周一郎 | 神奈川県 藤沢土木事務所 工務部長 (令和6年度) |
| | | 松田 英介 | 神奈川県 藤沢土木事務所 工務部長 (令和7年度) |
| | | 宮原 伸一 | 藤沢市 企画政策部長 |
| | | 三上 雅之 | 藤沢市 計画建築部長 |

合計 15名

3 市民意見等の把握の経過

| 項目 | 概要 |
|----------------|--|
| 郷土づくり推進会議等との協議 | <p>13地区ごとに設置する郷土づくり推進会議を中心に地区の現況や課題等について意見交換を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各地区3～8回 / 延べ83回 ● 実施期間：2023年(令和5年)6月～2024年(令和6年)9月、2025年(令和7年)6月～8月 |
| 団体ヒアリング | <p>まちづくりの担い手の実態や課題、今後の活動展望、ならびに都市マスタープランや市施策への期待の把握を目的に、市内でまちづくりに関わる団体・企業を対象にヒアリングを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヒアリング団体数：24団体(市民団体：16、公的団体：2、企業：6) ● 調査方法：担当者によるヒアリング方式 ● 調査期間：2024年(令和6年)11月下旬から2025年(令和7年)2月中旬まで ● 実施場所：各活動団体活動場所等 |
| 市民アンケート | <p>市民の暮らしの実態や、藤沢市のまちの魅力、望まれる将来像等の把握を目的にアンケート調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調査対象：市内在住の15歳以上の方3,000名(13地区ごとの男女及び年齢を均等とした抽出人数を無作為抽出) ● 調査方法：アンケート依頼を郵送で送付し、Web上での回答 ● 調査期間：2025年(令和7年)2月12日から28日まで ● 回収結果：734件(24.5%) |
| 来訪者アンケート | <p>藤沢市への来訪実態及び再来訪の意向や居住意向の把握を目的として市外在住の来訪経験者を対象としたアンケート調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調査対象：藤沢市を除く全国の15歳以上の男女かつ藤沢市への来訪経験がある人を抽出 ● 調査方法：インターネット調査会社を利用したWebアンケート ● 調査期間：2025年(令和7年)5月16日から19日まで ● 回収結果：400件 |
| ブレスト会議 | <p>まちづくりに係る活動を行う団体等の関係者や公募市民によるワークショップを開催した。</p> <p>【第1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テーマ：「選ばれるまち」「活動や交流の舞台になるまち」「各地域の長所や推したい特徴」 ● 開催日：2025年(令和7年)2月12日(水) ● 開催場所：藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・5-2会議室 ● 参加者数：41名 |

| 項目 | 概要 |
|------------|---|
| ブレスト会議（続き） | <p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テーマ：「どんな場のビジョンが必要か」「場を実現するためにどうするか」 ● 開催日：2025年（令和7年）6月25日（水） ● 開催場所：藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・5-2会議室 ● 参加者数：35名 |
| 子どもからの意見収集 | <p>ふじさわ子どもまちづくり会議</p> <p>大学生が主体となって、小学生を対象に地域のまちづくり学習を行うワークショップで、藤沢のまちづくりについて意見を収集した。</p> <p>【第28回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2024年（令和6年）11月30日（土）、12月1日（日） ● 対象地区：村岡地区 ● 開催場所：村岡公民館 ● 参加者数：子ども：39名、大学生：27名、社会人：18名、 ジュニアボランティア：3名 <p>【第29回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年（令和7年）11月22日（土）、23日（日） ● 対象地区：湘南台地区 ● 開催場所：湘南台市民センター ● 参加者数：子ども：29名、大学生：33名、社会人：18名、 ジュニアボランティア：3名 <p>ふじさわ子ども・若者委員会</p> <p>高校生、大学生が市の施策への意見表明をするほか、自らの「まちへの思い」を意見提案するワークショップで、藤沢への思いについて意見を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象者：高校生・大学生 ● 開催日：2025年（令和7年）8月24日（日） ● 開催場所：藤沢市役所 本庁舎 ● 参加者数：15名 |

| 項目 | 概要 |
|-----------|---|
| パブリックコメント | <p>「藤沢市都市マスタープラン(素案)」に対する意見を募集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象者：市内在住・在勤・在学の方、市内に事業所等を有する方、その他利害関係者 ● 意見募集期間：2025年(令和7年)12月5日から 2026年(令和8年)1月5日 まで ● 意見の件数：15件(9名) |
| 説明会 | <p>パブリックコメントの実施と合わせて、計画内容を市民等に伝えるため、説明会を開催した。</p> <p>【第1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年(令和7年)12月11日(木) ● 開催場所：湘南台市民センター 第1談話室 ● 参加者数：2名 <p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年(令和7年)12月20日(土) ● 開催場所：藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・5-2会議室 ● 参加者数：5名 <p>【第3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年(令和7年)12月23日(火) ● 開催場所：藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・5-2会議室 ● 参加者数：4名 <p>併せて、当日の出席が難しい場合や気軽に計画内容を確認できるよう説明動画を公開した。</p> |

| 項目 | 概要 |
|---------|---|
| オープンハウス | <p>市民及び来訪者を対象に、改定都市マスタープラン素案の周知および普及啓発を図るとともに、都市マスタープランに掲げるビジョンの実現に向け、協働・共創によるまちづくりを推進するための基礎資料となる意見・意向を収集することを目的として、オープンハウスを開催した。</p> <p>【第1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年(令和7年)12月7日(日) ● 開催場所：藤沢市総合市民図書館 ● 参加者数：35名 <p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年(令和7年)12月8日(月) ● 開催場所：藤沢市総合市民図書館 ● 参加者数：45名 <p>【第3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年(令和7年)12月14日(日) ● 開催場所：藤沢駅前広場 サンパール広場 ● 参加者数：9名 <p>【第4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日：2025年(令和7年)12月15日(月) ● 開催場所：藤沢市役所本庁舎 1階 ラウンジ ● 参加者数：32名 |